



## 2020年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月6日

上場会社名 株式会社ダイセキ 上場取引所 東・名  
 コード番号 9793 URL <http://www.daiseki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柱 秀貴  
 問合せ先責任者 (役職名) 企画管理本部長 (氏名) 片瀬 秀樹 TEL 052 (611) 6322  
 四半期報告書提出予定日 2020年1月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第3四半期の連結業績（2019年3月1日～2019年11月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	41,173	5.8	8,605	21.7	8,726	21.8	5,591	19.1
2019年2月期第3四半期	38,899	7.1	7,067	8.4	7,159	8.3	4,692	7.8

(注) 包括利益 2020年2月期第3四半期 6,026百万円 (25.3%) 2019年2月期第3四半期 4,809百万円 (3.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	130.73	—
2019年2月期第3四半期	109.76	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第3四半期	90,355	74,866	75.9
2019年2月期	85,522	70,957	76.0

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 68,603百万円 2019年2月期 65,038百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2019年2月期については遡及適用後の数値を記載しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	20.00	—	26.00	46.00
2020年2月期	—	23.00	—	—	—
2020年2月期（予想）	—	—	—	33.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2020年1月6日）公表いたしました「通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2020年2月期の連結業績予想（2019年3月1日～2020年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	5.2	10,800	18.5	10,900	18.4	7,050	15.3	164.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2020年1月6日）公表いたしました「通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期3Q	43,000,000株	2019年2月期	43,000,000株
② 期末自己株式数	2020年2月期3Q	221,461株	2019年2月期	238,601株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期3Q	42,771,136株	2019年2月期3Q	42,755,383株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) .....	7
(追加情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国・中国間の貿易摩擦の拡大等の影響による世界経済の低迷を受け、国内工業生産や輸出に陰りがみられるなど、景気の先行きへの不透明感が増す展開となりました。

こうした経済情勢下において、当社グループの主力事業である工場廃液を中心とした産業廃棄物の処理業は、国内工業生産が低迷する厳しい外部環境下ではありましたが、SDGsに象徴されるように世界的な環境意識の高まりを受け、当社グループの強みである信頼性の高いリサイクル技術、さらには緊急対応能力を背景としたシェアアップを図ることにより、ほぼ計画通り増収増益を確保してまいりました。

先期から受注単価の下落により採算が悪化した株式会社ダイセキ環境ソリューションが手掛ける土壤汚染処理関連事業は、需要が低迷する環境下ではありましたが、難処理案件や災害対応案件等を積極的に獲得することにより、高付加価値案件の比率を高めてまいりました。さらには、2018年12月に開設した横浜恵比須リサイクルセンターによる関東地区での営業拡大や愛知県の土壤洗浄設備の稼働率上昇を図ることにより、処理コストの低減を図ることができたため、利益率の改善がみられました。

システム機工株式会社が手掛ける大型タンクの洗浄事業は、人員並びに設備増強を図ることにより、洗浄能力を拡大し、順調に業容を拡大いたしました。また、株式会社ダイセキMCRが手掛ける鉛リサイクル事業は、鉛価格の不安定な状況が続きましたが、パーゼル法改正の影響により原料である使用済バッテリーの韓国への流出がストップしたため原料調達環境が改善し、生産数量も20%以上の増産を図ることができたため増収となり、黒字化を達成しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高41,173百万円(前年同四半期比5.8%増)、営業利益8,605百万円(同21.7%増)、経常利益8,726百万円(同21.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益5,591百万円(同19.1%増)と増収増益を確保し、いずれも過去最高の業績となりました。

当社グループは、環境関連事業から構成される単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態に関する説明については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

当第3四半期連結会計期間末の総資産は90,355百万円と前連結会計年度末に比べ4,832百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が4,502百万円減少したものの、有形固定資産が7,376百万円、受取手形及び売掛金が1,352百万円それぞれ増加したことによります。負債は15,488百万円と前連結会計年度末に比べ923百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が265百万円減少したものの、長期借入金が1,365百万円増加したことによります。純資産は74,866百万円と前連結会計年度末に比べ3,908百万円増加いたしました。これは主に利益獲得により利益剰余金が3,495百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の連結業績予想につきましては、2019年4月4日に公表いたしました業績予想から修正しております。また、2020年2月期の期末配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,535	27,032
受取手形及び売掛金	8,055	9,407
有価証券	—	1,314
たな卸資産	1,937	1,964
その他	388	823
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	41,912	40,537
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,315	9,826
機械装置及び運搬具(純額)	3,575	4,145
土地	16,658	24,102
建設仮勘定	2,549	368
その他(純額)	405	438
有形固定資産合計	31,504	38,881
無形固定資産		
のれん	496	439
その他	290	305
無形固定資産合計	786	744
投資その他の資産		
投資有価証券	8,349	7,099
長期預金	1,000	1,000
繰延税金資産	964	1,062
その他	1,070	1,050
貸倒引当金	△65	△20
投資その他の資産合計	11,318	10,192
固定資産合計	43,610	49,818
資産合計	85,522	90,355

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,698	4,347
短期借入金	1,220	1,540
1年内返済予定の長期借入金	475	606
未払法人税等	1,704	1,439
賞与引当金	355	115
その他	4,741	3,628
流動負債合計	12,197	11,676
固定負債		
長期借入金	962	2,328
役員退職慰労引当金	259	267
退職給付に係る負債	941	977
その他	203	238
固定負債合計	2,367	3,811
負債合計	14,565	15,488
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,382	6,382
資本剰余金	7,097	7,116
利益剰余金	51,848	55,344
自己株式	△404	△376
株主資本合計	64,924	68,467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110	134
退職給付に係る調整累計額	3	0
その他の包括利益累計額合計	114	135
非支配株主持分	5,919	6,263
純資産合計	70,957	74,866
負債純資産合計	85,522	90,355

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
売上高	38,899	41,173
売上原価	27,269	27,899
売上総利益	11,629	13,273
販売費及び一般管理費	4,561	4,668
営業利益	7,067	8,605
営業外収益		
受取利息	37	45
受取配当金	12	8
出資金運用益	1	19
受取保険金	32	37
その他	21	19
営業外収益合計	104	130
営業外費用		
支払利息	1	4
保険解約損	10	—
その他	0	5
営業外費用合計	12	9
経常利益	7,159	8,726
特別利益		
固定資産売却益	76	37
投資有価証券売却益	75	—
補助金収入	—	55
その他	—	0
特別利益合計	151	93
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	6	51
減損損失	—	23
固定資産圧縮損	—	55
その他	0	—
特別損失合計	6	131
税金等調整前四半期純利益	7,304	8,688
法人税、住民税及び事業税	2,384	2,837
法人税等調整額	△50	△121
法人税等合計	2,334	2,715
四半期純利益	4,970	5,972
非支配株主に帰属する四半期純利益	277	381
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,692	5,591

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	4,970	5,972
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△158	57
退職給付に係る調整額	△3	△3
その他の包括利益合計	△161	53
四半期包括利益	4,809	6,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,560	5,613
非支配株主に係る四半期包括利益	248	413



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社グループは、従来、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法について、定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間から、定額法に変更いたしました。

この変更は、中期的な経営計画における設備投資及び、当社の連結子会社である株式会社ダイセキ環境ソリューションにおける新リサイクルセンターの建設を契機に、有形固定資産の使用実態を調査した結果、当社グループの有形固定資産の稼働は今後も安定的に見込まれることから、期間損益計算をより適正に行うためには耐用年数にわたり均等に費用配分を行うことが適切であると判断したためであります。

この変更により、従来の方によった場合と比較して、当第3半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ515百万円増加しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。